

今月もコロナの話題からです

連日コロナウイルス感染者の増加のニュースに緊張が続いています。12月1日には利根沼田保健所から面会の制限や感染予防の徹底について電話がありました。これまで書類での要請などはありませんでしたが、電話での指導は初めてだったので、利根沼田も緊張感が高まっていることを強く感じました。4月の緊急事態宣言以来再び面会の制限をさせていただいています。お会いできず寂しい思いをさせてしまっている利用者、ご家族の皆様にはご理解ご協力感谢您しております。

また、すっかり定着した「3密」に続いて今度は感染リスクが高まる「5つの場面」といものが示され、春からずっと緊張してしてきた中でさらに配慮することが増えて益々息苦しさを感じています。恵の家では感染リスクを避けながら自分なりのリフレッシュ方法を見つけていけるように職員に呼び掛けています。クリスマスや忘年会、お正月と例年であれば賑やかな時期ですが、無事に今日が終わり、また変わりのない明日を迎えられることを幸せだと感じます。

感染リスク高まる5つの場面

- ① 飲食を伴う懇親会
- ② 大人数や長時間におよぶ飲食
- ③ マスクなしでの会話
- ④ 狭い空間での共同生活(寮やトイレなど)
- ⑤ 居場所の切り替わり(休憩室や喫煙所など)

換気が大切

空気が動けば「寒い」と言われる利用者さんに気づかれず換気するのは至難の業なんです(笑)

⇒写真のように日なたに出て外の空気を吸って、思いっきり換気ができる日はありがたいです。



避難訓練を行ないました

11月10日に消防隊員立会いのもと避難訓練を行ないました。今回は夜間にグループホームの脱衣場のファンヒーターからの出火を想定しました。参加できた入居者は2人で、他の方は職員が代役をしたり、ぬいぐるみを使用しました。回数を重ねて話し合いによって、出火元の夜勤者、救助に行く隣のホームの夜勤者の動きなど定着しつつあります。ですが、まだまだ訓練でも想定外のことは起こりますし、慌ててしまうことがあります。今後も訓練を重ね緊急時に対する心構えを身につけられるようにしていきたいと思ひます。

